

こいずみみどりかい
小泉水土里会 (上田市)

・組織の活動面積	A = 93.22 ha
・組織の構成員数	約 270 人

組織形態	共同活動	中山間直接支払	向上活動
取組開始年度	平成24年～	-	平成24年～

構成員	農業者、小泉自治会、吉田自治会、小泉水利組合、川西地区土地改良区、川西小学校PTA、JA信州うえだ西部営農センター、上田市農業委員会(小泉地区)、川西公民館小泉分館、上田市消防団第20分団、町小泉アヤマを育む会、ワカサギ同好会
-----	---

組織の概要

上田市の西部に位置する小泉、吉田地域は、古来の条里遺構を残す水田地帯であり、南側の山沿いを流れる山崎堰や泉池などのため池に支えられてきました。

泉池は、宝永元年(1704年)から7年の歳月を要し築造されたと云われており、140haの水田を潤しているため池です。満水面積50,000㎡、貯水量256,000トンと、上田市内でも大きなため池で、毎年5月5日には、五穀豊穡、家内安全を願い「弁財天祭」を実施しています。

地区内のほ場は、県営ほ場整備事業(昭和60年～平成8年)により整備され、機械化農業の基盤が確立されました。水土里会では、整備された農地や農業施設の保全を始め、小学校PTAと連携した農道への植栽など、素晴らしい農村景観を次世代に引き継ぐための活動を展開しています。

地域で守る”条里の郷” …… 素晴らしい農村景観を次世代へ

泉池の草刈り



年2回、堤体の草刈りを実施しています。50人で約2時間かかる作業です。

農道の補修



傷んだ農道の補修をしています。

アヤマ街道の管理



農道脇に植えたアヤマです。丹精込めた管理により、毎年美しい花が楽しめ、アヤマまつりも実施しています。

農道沿いの植栽



小学校児童、保護者、公民館と共同で、通学路になっている農道脇に花を植栽しています。



条里の基準点となった「地の眼」

外来種の駆除



ため池の落水時に、ブラックバスの駆除を実施しています。

